

夏井川T B Gコース津波災害回復行程表

69年とか100年周期説による東日本の甚大な災害に見舞われた皆様に心からお見舞い申し上げます。また、3/15日の原発2号機の爆発によって大気汚染が発生しました。幸いにして北西方向の風が吹いており、いわき市には影響がありませんでしたが現在でも油断はできません。注意して原発の行方を見守って行きたいと思えます。

それでは、主な工程について下記に示します。

(パート1：自己回復に向けて) (パート2：環境回復に向けて)

(パート3：練習に向けての取り組み)

P-1：自己回復に向けて

夏井川T B Gコースの津波災害は目を覆いたくなる惨状でした。

T B Gいわき協会幹部が、市役所に出向き災害回復について交渉しましたが、予想通りスポーツ施設は最後の最後に原状回復になることでした。そして、自己管理で回復するのは、やぶさかではないと市の担当者。この情報を基にT B Gいわき協会は、今季大会は半年間の休会を決定した。しかし、マイルド会員は考えました。

(何とか練習だけは出来ないか?)

会員の一人は、ある晴れた日に9番ホールフェアウエー内の瓦礫を撤去したのです。一人での作業は体力的に大きなダメージを伴いました。瓦礫の下では芝生が芽を出していました。「早く撤去して」と、訴えているようで心が痛みました。が、収穫はありました、自分たちの力で、練習のできる環境が回復出来るという見通しが立ったのです。「成せば成る、成さねばならぬ何事も」の精神です。

撤去作業開始

マイルド会員の有志に働きかけ、瓦礫の撤去作業が始まりました。

ある会員は軽トラを調達しました。

植え込みの中に溜まった瓦礫をかき出しました。

丸太は数人で持ち上げ軽トラに積み運びました。

バンカーの中では砂を篩ってゴミを取り除きました。

瓦礫は近くの捨て場に、軽トラ何台運搬したでしょうか？

当初の目的は「練習できる環境を作ろう」でしたが、当初の目論見

より一歩進んだ練習環境が出来上がりました。まだ、撤去作業は

道半ばですが、練習には十分の環境が出来たと思っています。

マイルド会員以外の方も賛同し、自主的に手を差し伸べて下さいま

した。本当にありがとうございました。

「モニュメント」

渡辺会長の一言が発端でした。

(モニュメントを作って見たら矢吹さん?)

大きな根っこや丸太が津波で運ばれて来ました。津波の威力は計り知れないものがあります。コース内にその痕跡を残したいという発想は誰も考えることでしょう。

市の管理地で遊水エリアですから「大きなもの」は出来ないにしても、それらしきもの、何らかの意味のあるものは残したいと思い、考えました。9番ホールには大きな根っこがあり、2番ホール横には丸太がありました。方位として最高の位置にありました。

夏井川TBGコース催事場からみると北側の方向になります、原発被害と津波被害の方向を表現しました。心当たりの有る諸兄は、この方向に向かって黙祷し、誠の心を捧げるシンボルにして下さい。

P-2：環境回復に向けて

夏井川TBGコースの完璧な原状回復は、見通しが立ちません。

まだまだ道半ばですが、必ず元の形に回復すると信じています。

今後、いわき協会本部が中心となり、継続していわき市担当課への働き掛けをお願いします。

環境回復未完の主な部分は

- 1、 コース外周コンクリート杭の回復（ロープ含む）
- 2、 地割れ部の補修等（タイル張り、アスコン舗装部分）
- 3、 タイル張りセンターコート清掃
- 4、 その他

P-3：練習に向けての取り組み

当分の間、各クラブの皆さんには「自己管理」の下で練習して頂きます。理由は、いわき市の正式な使用許可は下りていません。

よろしくお願いします。また、コース外のサイクリングロード等瓦礫の撤去は、今日でも一向に進んでいません。危険ですので立ち入らないようにお願いします。 2011-4 文責：矢吹 清

***いわきTBG協会、堀川会長コメント**

大震災の直後、多くの会員が夏井川コースの様子を見て肩を下ろす姿を見、有志が立ち上がった。1日でも早く練習が出来る環境に戻すよう協力した結果、4月初めから末には全コース練習可能になった。市の正式な許可は無いが、自己責任で練習しているのが現状。いわき市協会としても正常な活動が出来るよう努力したい。

*マイルドクラブ、渡辺会長コメント

市のグランド整備を待たずに協会号令の下でグランド整備を行い、
使用許可を得るよう努力しましょう。

